

## ドアサービスの無期限休止に関する要求書

2022年1月24日

日本交通株式会社

代表取締役社長 若林 泰治 殿

東京都新宿区高田馬場3-13-3-404

日本労働評議会中央執行委員会

委員長 長谷川 清輝

日本労働評議会東京都本部

委員長 中里 好孝

同 日本交通分会

分会長 高橋 聡



新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進む中、オミクロン株といった既存のワクチンでは十分に感染予防できない変異種が蔓延し、全国各地でまん延防止措置が適用されております。貴社は職域接種や車内に高効率空気清浄機や飛沫防止シールドを取り付けるなど感染拡大防止策を実施し、公共の交通機関としての使命を果たすべく日々ご尽力されておりますが、緊急事態宣言下で実施されていた「ドアサービスの休止措置」につきましては、未だ再開されていないと存じます。ドアサービスは、サービス品質の差別化や乗客間違いを防止する目的で実施されていることは承知しておりますが、一方で、安全面や衛生面で問題の多いサービスである事も周知の事実です。市民に信頼される交通サービスを提供し続けるためにも、「無期限休止」ないし「希望する乗客のみに行う」といった見直しを図って頂きますようお願いいたします。ドアサービスの問題点を下記に挙げましたので、ご参考にして頂けたら幸いです。

### 記

- ① 至近距離での接客になるためウイルスに感染する危険が高まる。
- ② JPN TAXI のスライドドアに乗客の衣服や私物を巻き込む危険がある。車内から目視でドア開閉したほうが安全である。

- ③ 道路上における運転席のドア開閉は、他の交通の妨げとなるうえ乗務員の身を危険に晒すことから極力避けるべきである。
- ④ 悪天候や気温の変化に対応できる制服を着用していないことから、長時間屋外で待機すると健康や運転に支障をきたす。
- ⑤ 「早く移動したい」「恥ずかしい」などの理由でドアサービスを望まない利用者が多い。

以上